

# 一級河川北上川水系 大沢川 上大沢ダムの効果(令和6年7月9日)【速報】

宮城県

○上大沢ダムでは、令和6年7月9日の大雨により、**流域平均の累計雨量が90mm、最大時間雨量では34mm**を記録しました。これによるダムへの最大流入量は、計画70m<sup>3</sup>/sに対し、**4.07m<sup>3</sup>/s**を記録し、これは計画の**5.8%**に相当する量です。

○今回の洪水調節により**最大流入時の70.5%(2.87m<sup>3</sup>/s)**を貯留し、下流河川の水位上昇を軽減しております。

## ダムの位置図



## 上大沢ダムの洪水調節実績

・洪水調節 開始	9日 9時 40分	終了	9日 11時 0分
・ダム流域累計雨量	90 mm	( 9日 3時 ~ 9日 20時 )	
・最大時間雨量	34 mm	( 9日 8時 ~ 9日 9時 )	
・ダムへの最大流入量	4.07 m <sup>3</sup> /s	( 9日 10時 0分 )	
・最大流入時の放流量	0.81 m <sup>3</sup> /s		
・ダムによる最大調節量	2.87 m <sup>3</sup> /s	( 約 70.5 % )	

## ダムの状況写真



貯水位 312.40m

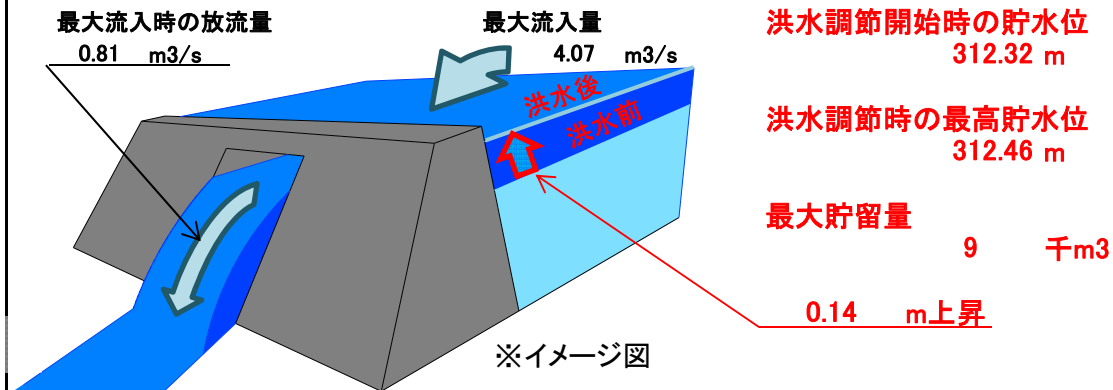
(洪水後 7月8日10時30分)

貯水位 312.47m

(洪水後 7月9日11時40分)

## 上大沢ダムによる調節量

最大流入時に、流入量の **70.5%** をダムに貯留しました。



# 一級河川北上川水系 大沢川 上大沢ダムの効果(令和6年7月9日)【速報】

宮城県

○ダム下流の大沢川では、橋元基準点においてダムの効果について検証しております。

○今回の洪水調節等により、この橋元地点で、**水位を最大0.03m低減させる効果**があったものと推測されます。仮にダムが整備されていなかった場合、橋元地点での河川水位は264.07mと推測され、ダムの効果により河川が氾濫する危険が軽減されました。

## 下流河川の状況写真

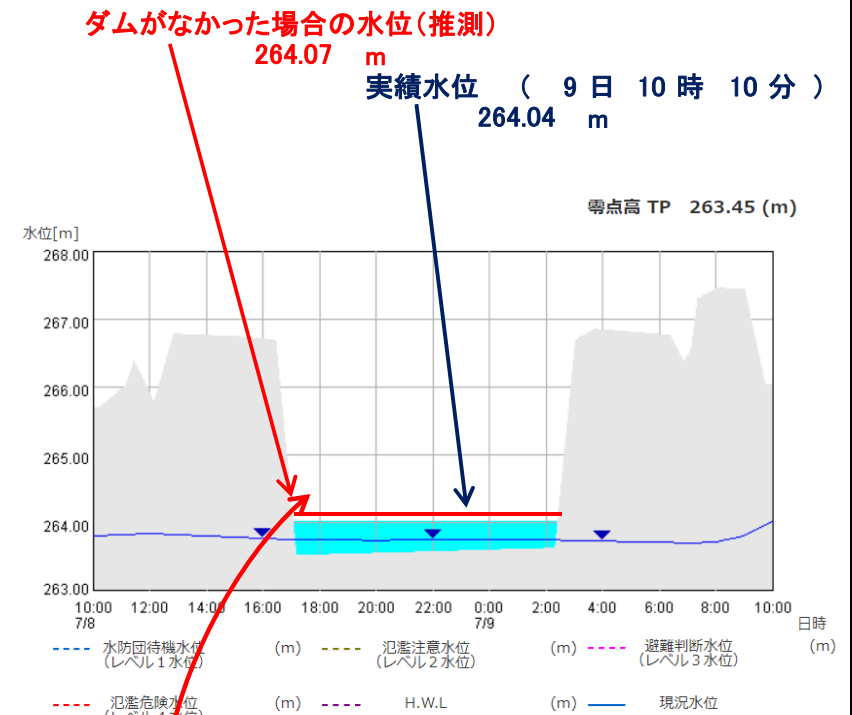


水位 263.52m 流量 15.925m<sup>3</sup>/s  
橋元水位観測所(洪水前 7月8日 10時30分)



水位 263.97m 流量 35.278m<sup>3</sup>/s  
橋元水位観測所(洪水後 7月9日 11時45分)

## 大沢川(橋元地点)の水位低減効果



ダムにより約0.03mの  
水位低減効果を推測